



2006年3月期 決算説明会

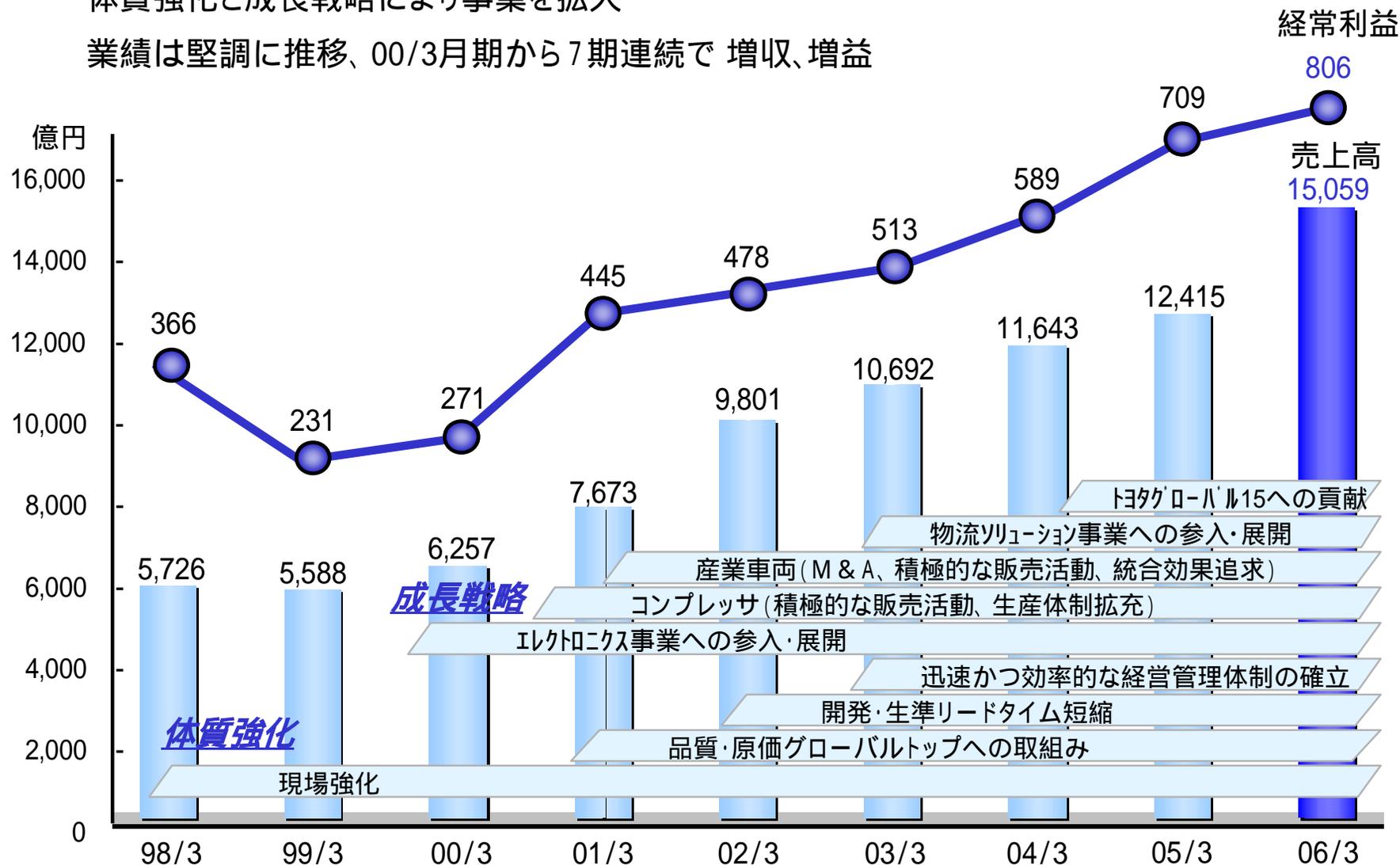
2006年4月27日

株式会社 豊田自動織機
TOYOTA INDUSTRIES CORPORATION

	スライド
これまでの経緯	1
業績 2006/3月期	2
経常利益の増減要因 2006/3月期	3
事業別セグメント 2006/3月期	4 ~ 5
業績予想 2007/3月期	6
経常利益の増減要因 2007/3月期	7
事業別セグメント 2007/3月期	8 ~ 9
設備投資・減価償却費	10
中期的な成長イメージ	11
主要経営指標	12

体質強化と成長戦略により事業を拡大

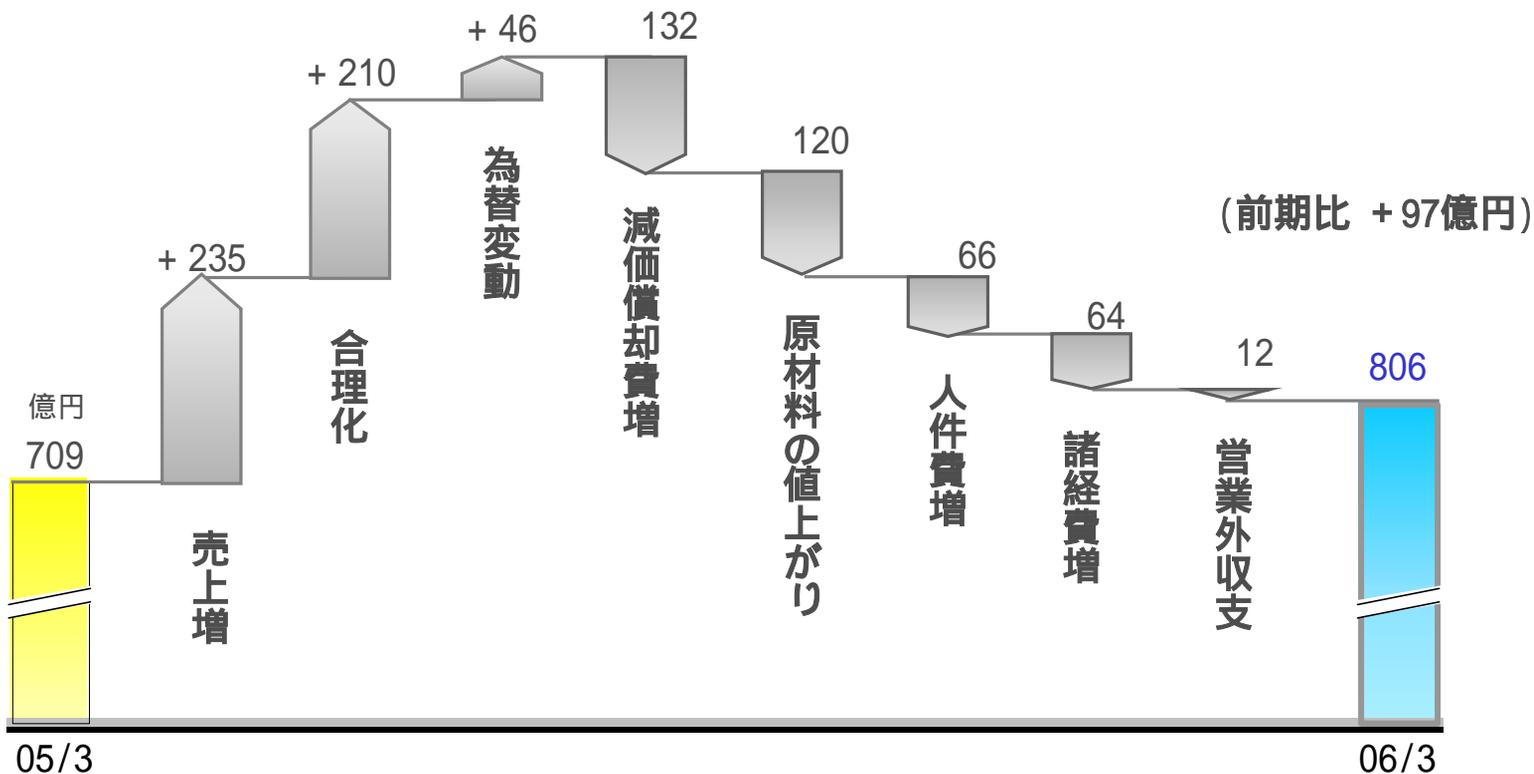
業績は堅調に推移、00/3月期から7期連続で 増収、増益



売上高から純利益まですべて過去最高

	06/3	05/3	増減	増減率
売上高	15,059 ^{億円}	12,415	+2,644	+21%
営業利益	4.3% 640	4.3% 531	+109	+21%
経常利益	5.4% 806	5.7% 709	+97	+14%
純利益	470	433	+37	+9%
為替レート	113円/US\$ 138円/1-□	108円/US\$ 135円/1-□		

売上増、合理化により、減価償却費増、原材料の値上がりなどをカバー

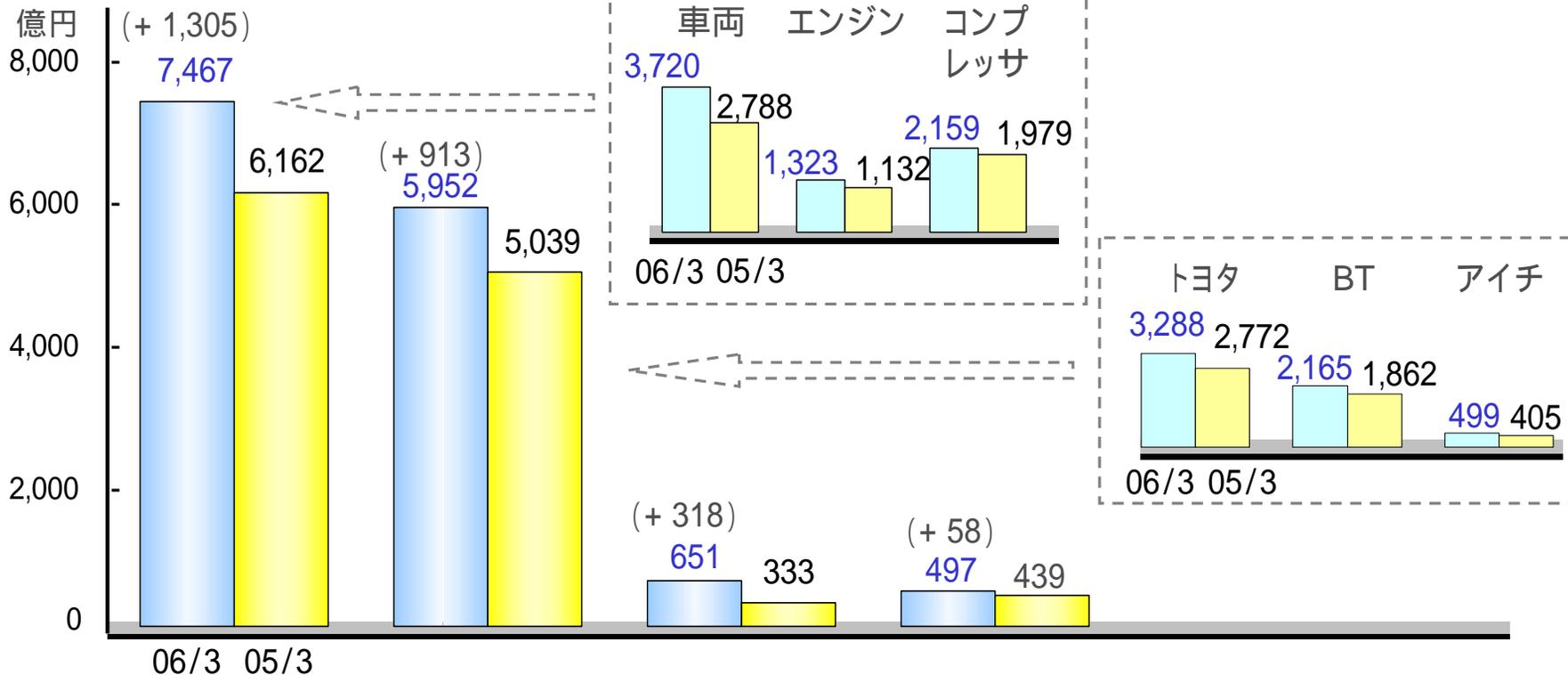


事業別セグメント売上高 2006/3月期



すべてのセグメントで増収

06/3 (+2,644) 05/3
15,059 ← 12,415



自動車

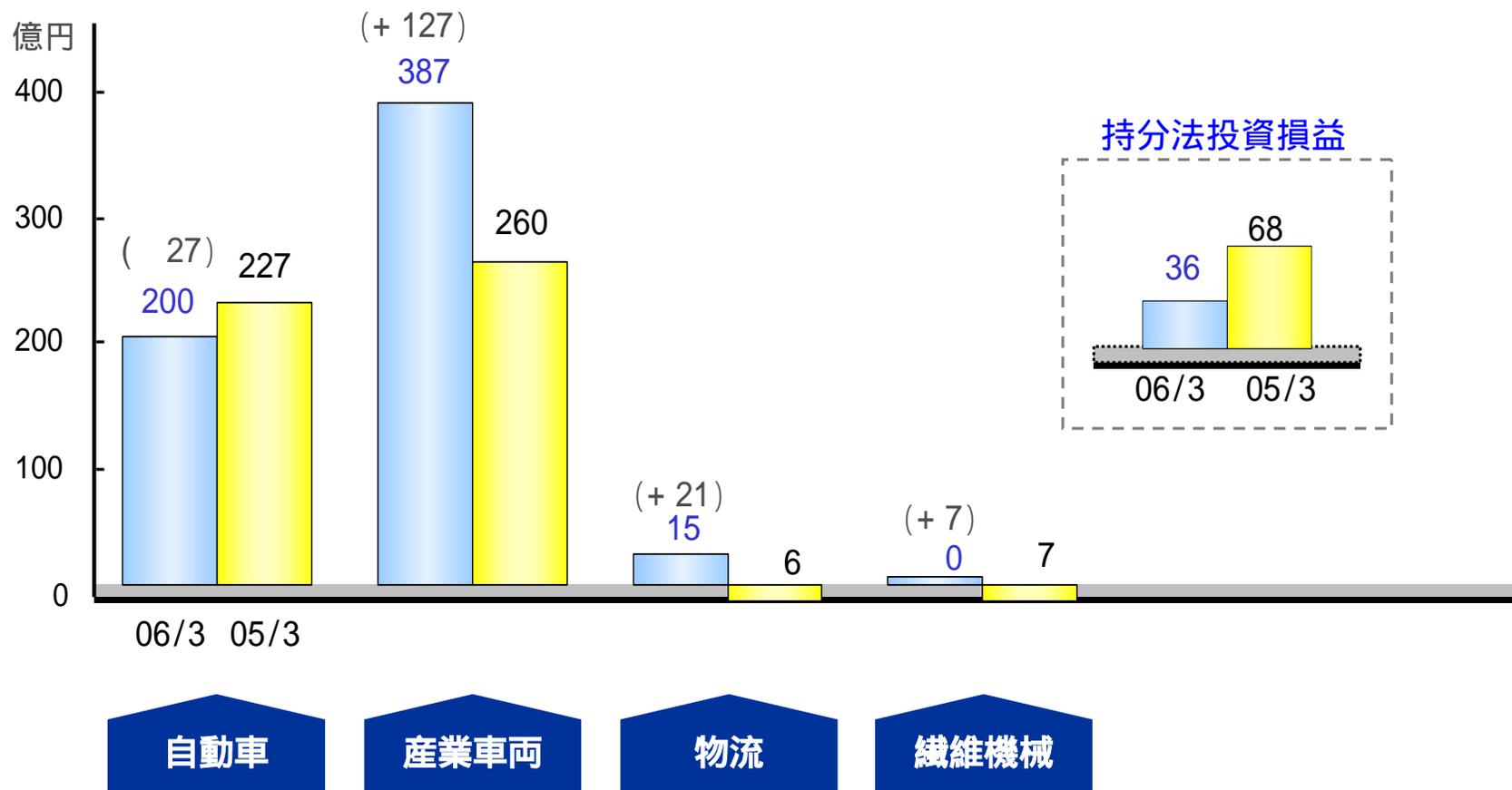
産業車両

物流

繊維機械

自動車セグメントでの減益を産業車両でカバー

06/3 640 ← (+ 109) 05/3 531

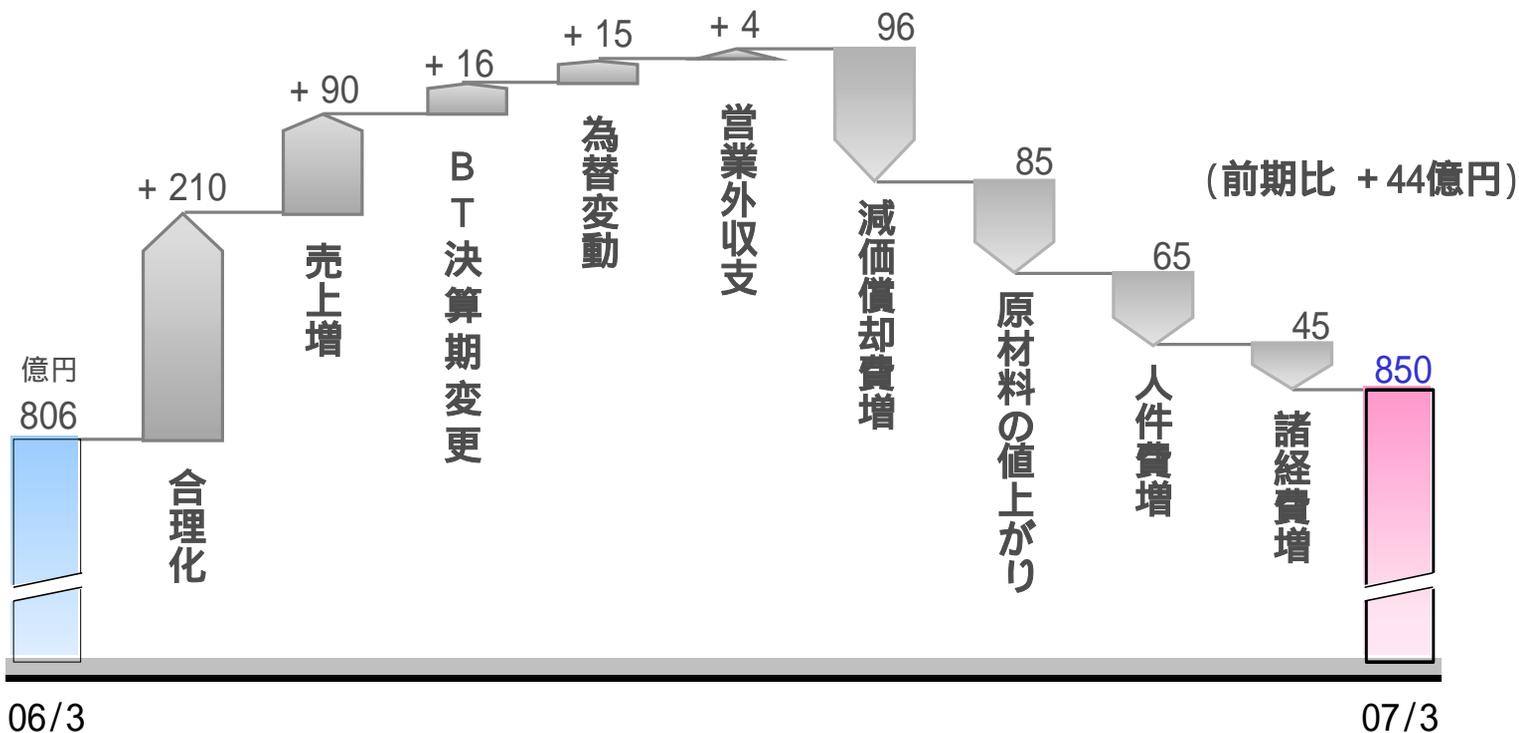


売上高から純利益まですべて過去最高を更新見込み

但し、先行投資負担等により、成長のスピードは若干足踏み

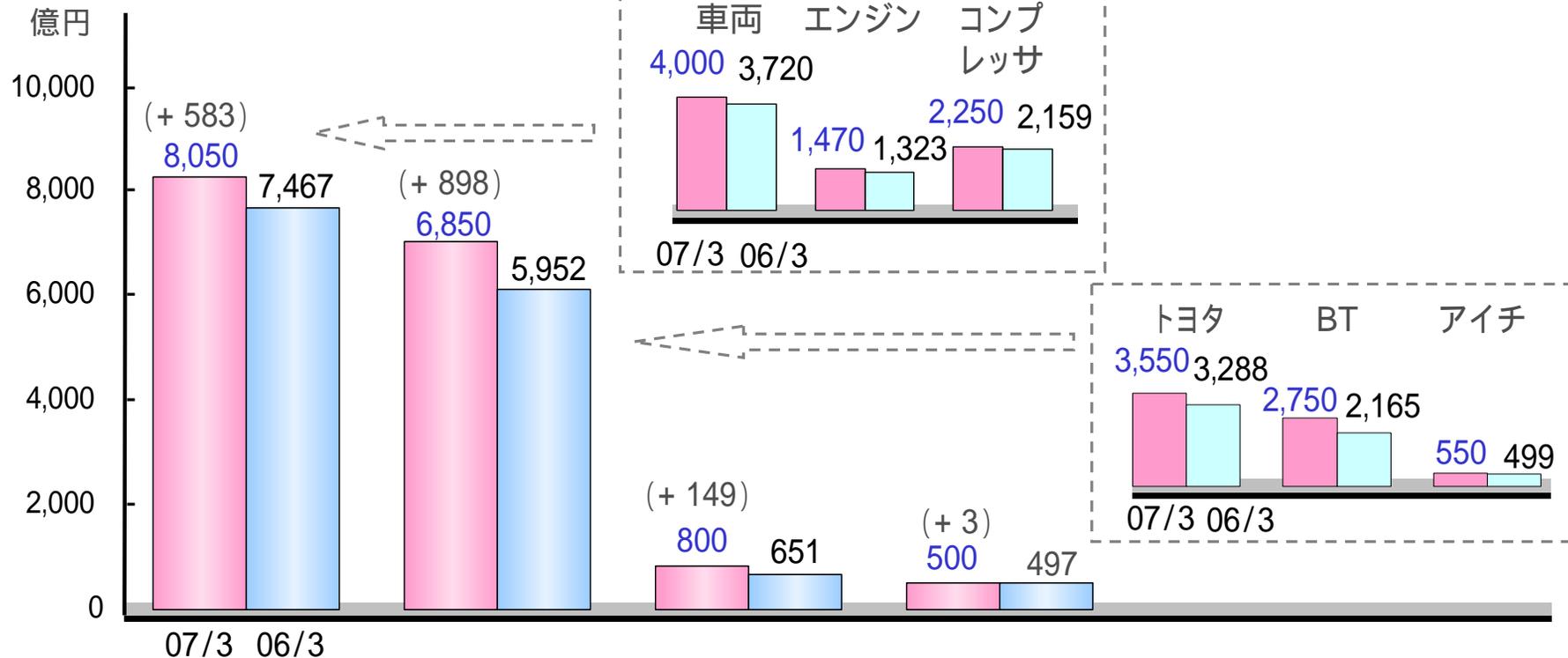
	07/3	06/3	増減	増減率
売上高	16,700 ^{億円}	15,059	+1,641	+11%
営業利益	4.1% 680	4.3% 640	+40	+6%
経常利益	5.1% 850	5.4% 806	+44	+5%
純利益	490	470	+20	+4%
為替レート	115円/US\$ 140円/1-□	113円/US\$ 138円/1-□		

合理化、売上増により減価償却費増、原材料の値上がりなどをカバー



すべてのセグメントで増収

07/3 (+ 1,641) 06/3
16,700 ← 15,059



自動車

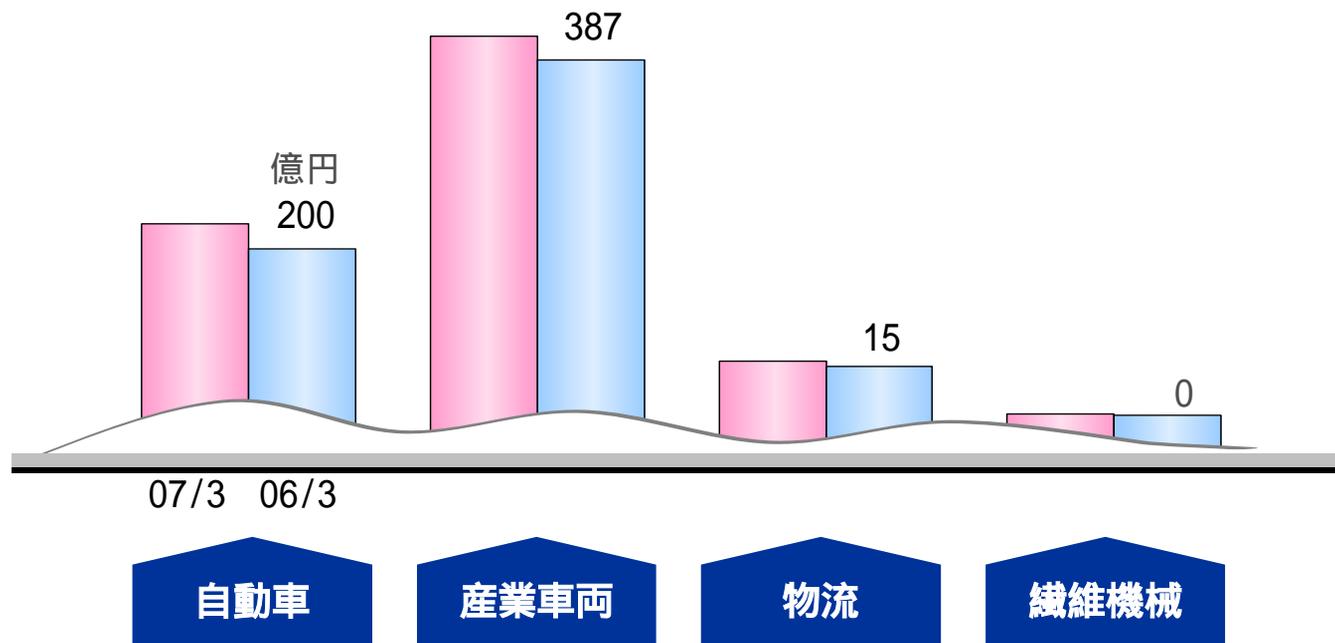
産業車両

物流

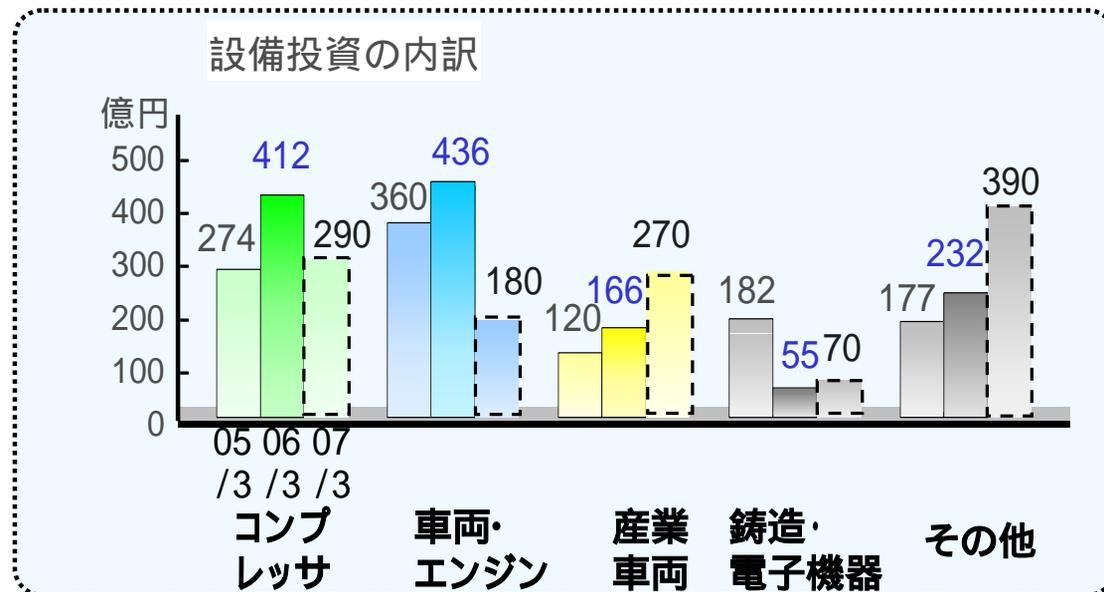
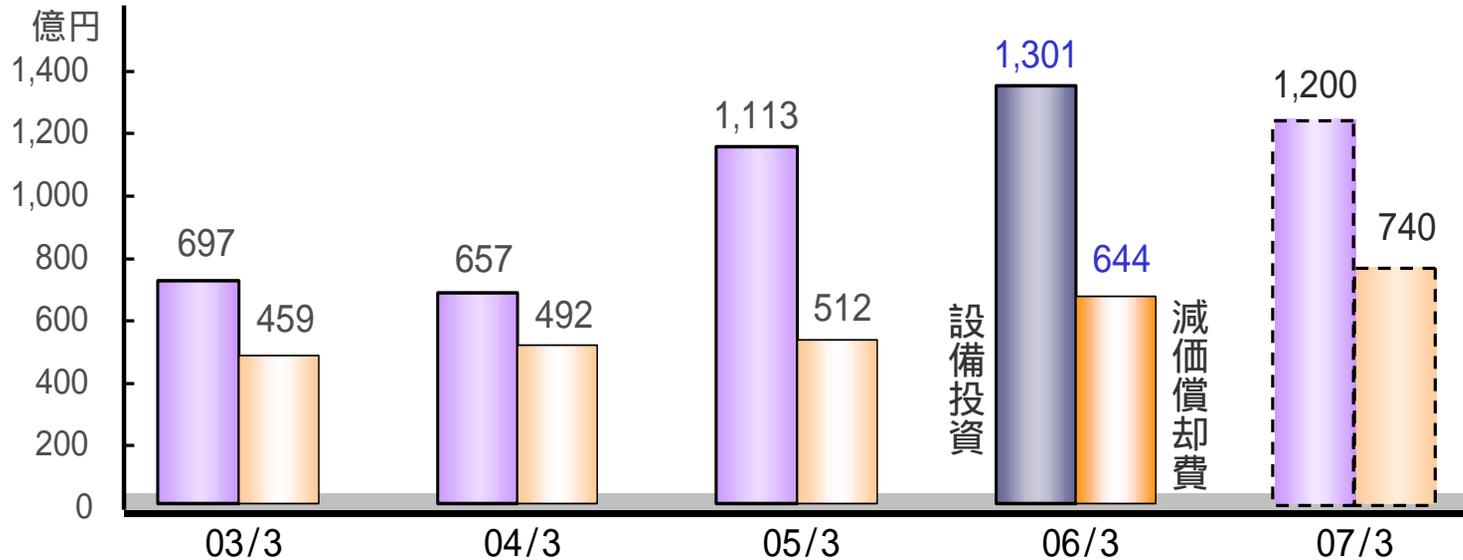
繊維機械

各セグメントとも 増益を予想

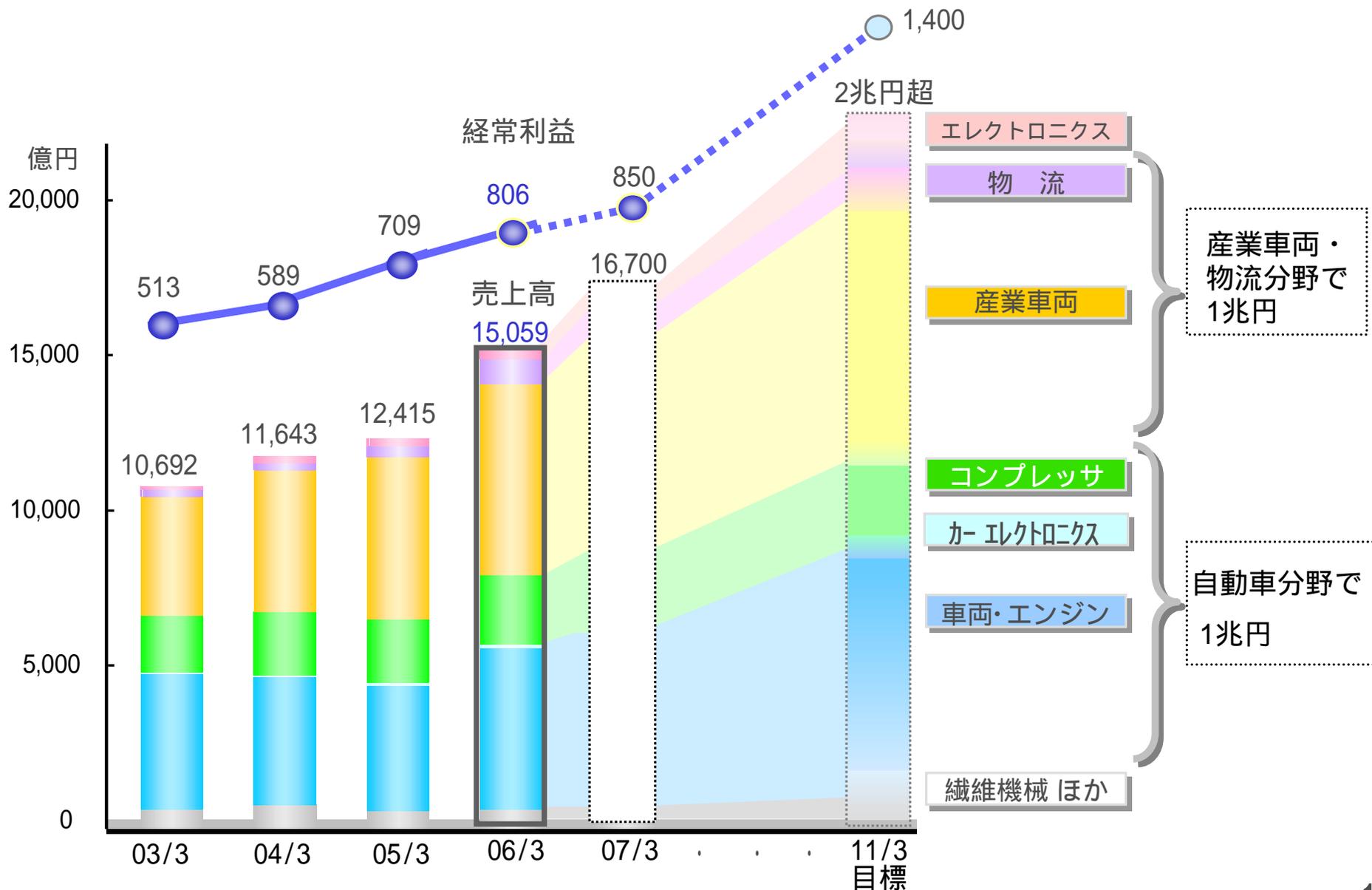
07/3	(+ 40)	06/3
680	←	640

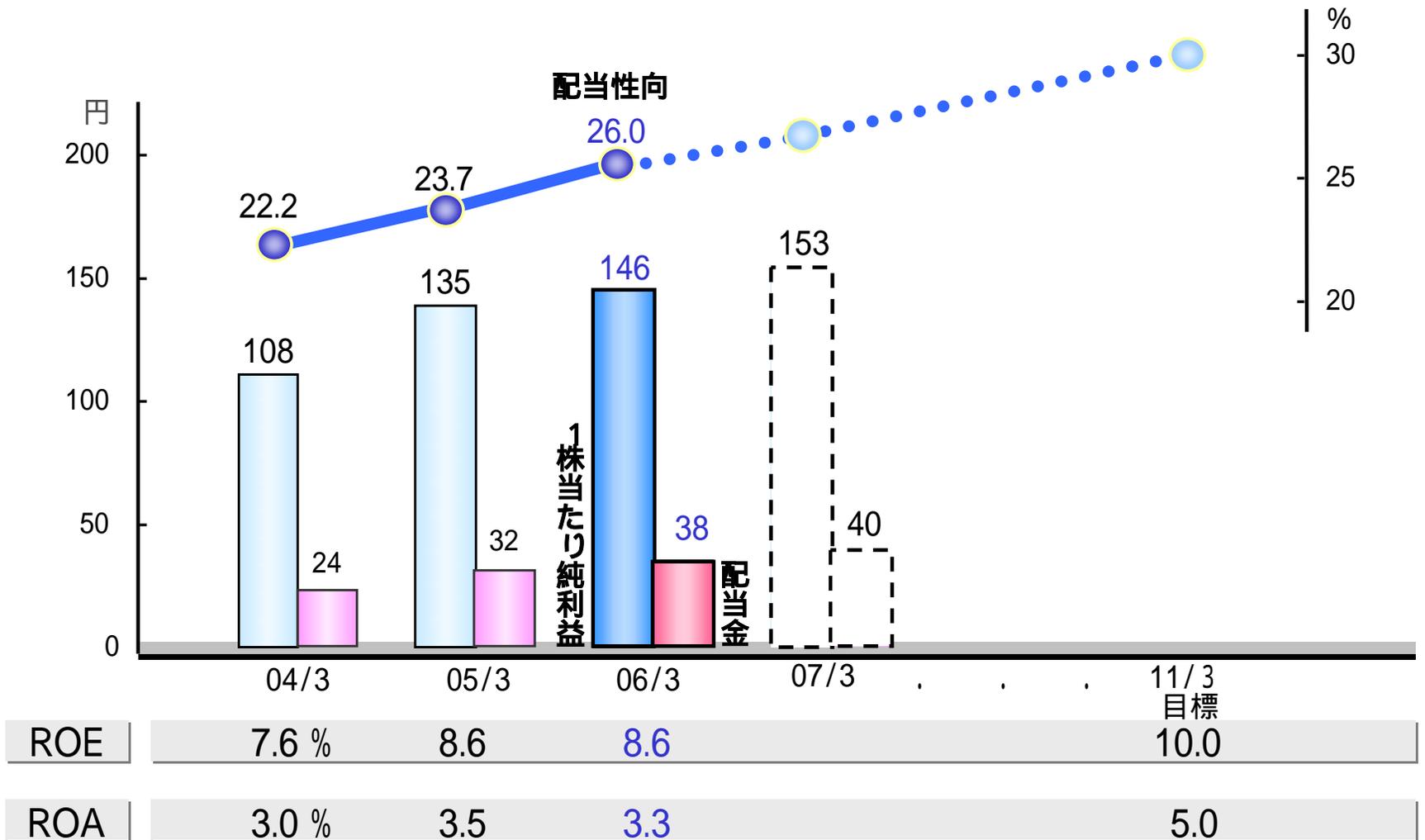


設備投資・減価償却費



中期的な成長イメージ





将来見通しに関する記述についての注意

このプレゼンテーション資料に記載されている、当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。したがって、これらの業績見通しのみで全面的に依拠することは控えてくださいますよう、お願いいたします。

実際の業績は、さまざまなリスクや不確実性により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実性には、当社の事業を取り巻く経済情勢、さまざまな競争圧力、関連法律・法規、為替レートの変動などを含みます。

ただし、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。